

ガーナでそろばんプロジェクト58号(2016年12月18日)

★★ 大好きな教室で生まれる感動ドラマ ★★

前の年に比べて、気のせいか雨が少ないように感じた十一月。この時期に降る雨で“いよいよ季節が乾季になるのか”と

感じるのですが、地球全体の気候気温が変動してきているのでしょうか。雨が降るのを少なく感じてしまいました。しかし、確実に気温は上がってきています。一日の気温は首都アクラで26度から31度。汗がダラダラ流れ落ちてきます。アフィフェ村は、アクラから東に約160キロ。気温はアクラとほぼ変わらなく感じるものの、風があるので若干涼しく感じます。しかし、トタン屋根の教室は、汗がダラダラと流れ落ちてきてしまいます。デバインアカデミースクールは、今年で十五周年を迎え、十月には記念式典が開催されました。ガーナに於いて十年続くのはとても大変で難しいことと言われています。それが十五周年も迎えたのだから、とても素晴らしいことだと思えます。その十五年の歴史の中で、そろばん教室を開室して6年目に入ることとても嬉しく感じます。十五周年式典を目指して、これまで教室の壁は垣根で一年と持たず朽ちていたものが、ドネーションやPTAの働きにより、ブロックに変わりました。赤土の床は依然赤土のままではありませんが、以前に比べるととても教室らしくなりました。教室らしくなったのは、とてもとても喜ばしいものなのですが、それまで垣根が朽ちていた壁の時は、そろばん教室にやってくる生徒が遠くから近づいてくるのがハッキリとわかり、生徒の姿を確認で来たときは、中学時代の淡い恋に似た胸のときめきがありました。・・・来てくれた。うれしい。・・・会えてうれしい。・・・そんな気持ちがありました。今は、生徒からも私からも教室が開室していると分かる位置に居ないなりません。その為、校門に近い教室で開室するようになりました。垣根が朽ちていた教室の時もブロックが壁になってからも雨が降らない限り、明るい日差しが教室に入ってきます。ニワトリが勝手に入ってくるのも以前と変わりま

せん。日本の学校では感じることもない視覚聴覚が働く、この学校の教室が実は好気だつたりします。

さて、今回の報前置きがだいぶ長くなってしまいました。十一月のそろばん教室では、中学2年生のコンスタンスが五十回の皆勤賞を受賞しました。コンスタンスは、2014年の十一月の終わりから通い始めました。今は、教室から足が遠のいてしまっているアイズイクが連れてきました。始めた当時、珠の見方が出来ないことに対して声を荒げてしまったことが当時のノートに記載されていました。コンスタンスは、そろばんが面白いということに気づいたのか？それともこの年のクリスマス会で、ノートやボールペン、お菓子などのクリスマスプレゼントを貰ったことが嬉しかったのか？年が明けて2015年のはじめ初めの日、お兄ちゃんであるパトリックをつれてくるのです。コンスタンスが通い始めて2年目で五十回の皆勤賞。本当におめでとー！私の活動源は、本当にこの子どもたちがいるからということに改めて気づかされます。そして、子どもたちは常に私に他では決して見ることに出来ない感動ドラマの出演者にしてくれるということにも気づかされます。



協賛



トモエそろばん様

報告者 TOSHIKO